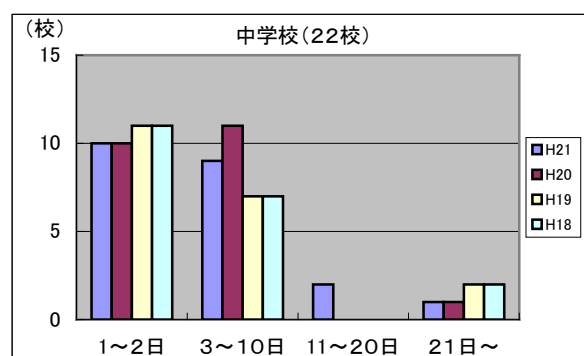
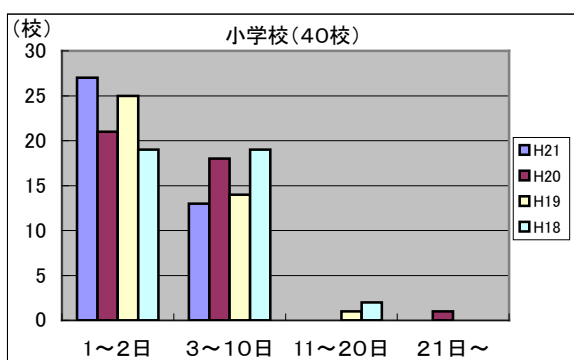


ねらい

学校では、子どもたちの豊かな人間性を育むために、体験活動等を生かしながら教育活動全体を通じて道徳教育を進めています。しかし、実生活の中で生きて働く道徳的実践力を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら進めていくことが必要となってきます。そこで、学校では道徳の授業の積極的な公開に努めています。

現状と課題

- 体験活動等を生かした道徳の時間の授業を年間3回以上実施した学級の割合
平成21年度【小学校】 58% 【中学校】 79% 【小・中学校平均】 68%
・総合的な学習の時間や特別活動での体験をもとにして関連性のある資料を用いたり、参加体験型学習を取り入れたりしながら道徳教育の取組を進めていますが、道徳的実践力を育成するためには、さらに体験活動等を生かした道徳の授業を充実させていく必要があります。
- 平成18～21年度の道徳の授業公開実施期間



- ・学校公開日や授業参観日に道徳の授業公開を位置付け、多くの学級で公開しています。
(平成21年度全学級で道徳の授業を公開した学校・・・小40校, 中20校)
- ・道徳の授業を積極的に公開したり、保護者参加型の道徳の授業を行ったり、授業の内容を学校だよりや学年だより、ホームページなどで発信したりすることで、「学校でどのような道徳教育をしているのか参観できてよかった」、「道徳の授業を参観して、自分自身も考えさせられる面があった」といった学校の道徳教育の取組について保護者や地域等から理解、評価をいただく声が寄せられています。

今後の方向性

- 道徳的実践力を育てるために、実生活や実社会とのかかわりを深め、さまざまな体験活動を生かした道徳教育の推進をより一層図ります。
- 道徳の授業公開を継続するとともに、地域の人や保護者に授業参加や協力を得ていきます。
- 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育全体指導計画の改善と各教科等の学習や日常生活と響き合うようなよりよい道徳教育年間指導計画の作成を行います。また今年度発行した「道徳教育実践事例集Ⅲ」やすでに配布済みの「道徳教育実践事例集・Ⅱ」を参考にしながら、子どもの心に響く教材開発や指導法の工夫等を行い、取組を進めます。